

甲・乙を記入

(様式 3)

論文提出者氏名

主論文題名

主論文題名を記入。

論文目録・主論文の内容抄録・学位論文内容の要旨(案)・確認書・同意書において、主論文題名および訳文の記載を統一すること。

(主論文が邦文の場合は英訳題名を、欧文の場合は邦文訳題名を()内に記入。)

主論文の内容抄録

- ・内容抄録は1600～2400字程度にまとめること。
- ・入力はMS明朝12P、英数字はCenturyで、 α γ 等の表記は英字をSymbolフォント表記とすること。
- ・英文や英数字を入力する際には、アルファベットのOと数字の0や、アルファベット(L小文字)lと数字の1を、また、アルファベット「X」と数式の「×」(かける)をきちんと区別すること。
- ・音引き「-」とアンダーバー「 」、マイナス「-」とハイフン「-」などを間違えることなく使い分けすること。
- ・句読点は「,」「.」でなく、「、」「。」とすること。
- ・数字入力の際は、半角・全角に気をつけ、書類全てで統一すること。
- ・《目的》、《対象》、《方法》、《結果》、《考察》、《結論》等、各々のタイトルを明記してから記述すること。
抄録内容によって変更していいが常識的な構成を逸脱しないよう注意する。

論文提出者氏名

主論文題名

甲・乙を記入

主論文の内容抄録

【主論文の内容抄録1枚目】
1枚目は論文タイトル記載のある頁を使用する。

【主論文の内容抄録2枚目以降】
複数頁にわたるときには、必ずダウンロードした次頁(枠あり)へ入力すること。

* 頁数は様式2の続きで作成すること。